

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2020年10月26日に第9期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンドクラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第9期末 (2020年10月26日)

基準価額	11,671円
純資産総額	1,980百万円
第9期	
騰落率	△4.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第9期 (決算日：2020年10月26日)

作成対象期間 (2019年10月26日～2020年10月26日)

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

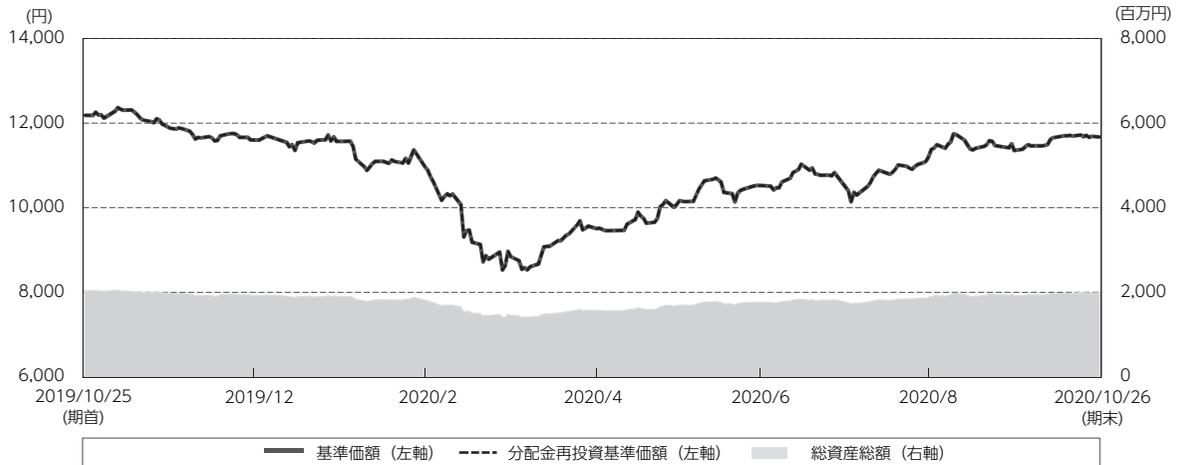
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2019年10月26日～2020年10月26日)



期 首：12,186円

期 末：11,671円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰 落 率：△4.2%

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金の再投資についてはお客様ご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首 (2019年10月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

世界的な中央銀行による金融緩和策、各国政府による財政支援策などが世界の株式市場を押し上げ、当ファンドが投資対象とするアジア・フロンティア市場の株価上昇が、プラス要因となりました。また新型コロナウイルスのワクチン開発への期待も株価を押し上げる要因となりました。(当期後半)

下落要因

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、アジア・フロンティア市場を含む世界の株式市場が下落したことがマイナス要因となりました。(当期前半)

また、期を通じて、円が米ドルや広くアジア通貨に対し上昇したことがマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2019年10月26日～2020年10月26日)

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	159 円	1.478 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(71)	(0.662)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(83)	(0.772)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.095	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.028)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(7)	(0.067)	開示資料等の作成・印刷費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	169	1.573	
期中の平均基準価額は、10,779円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

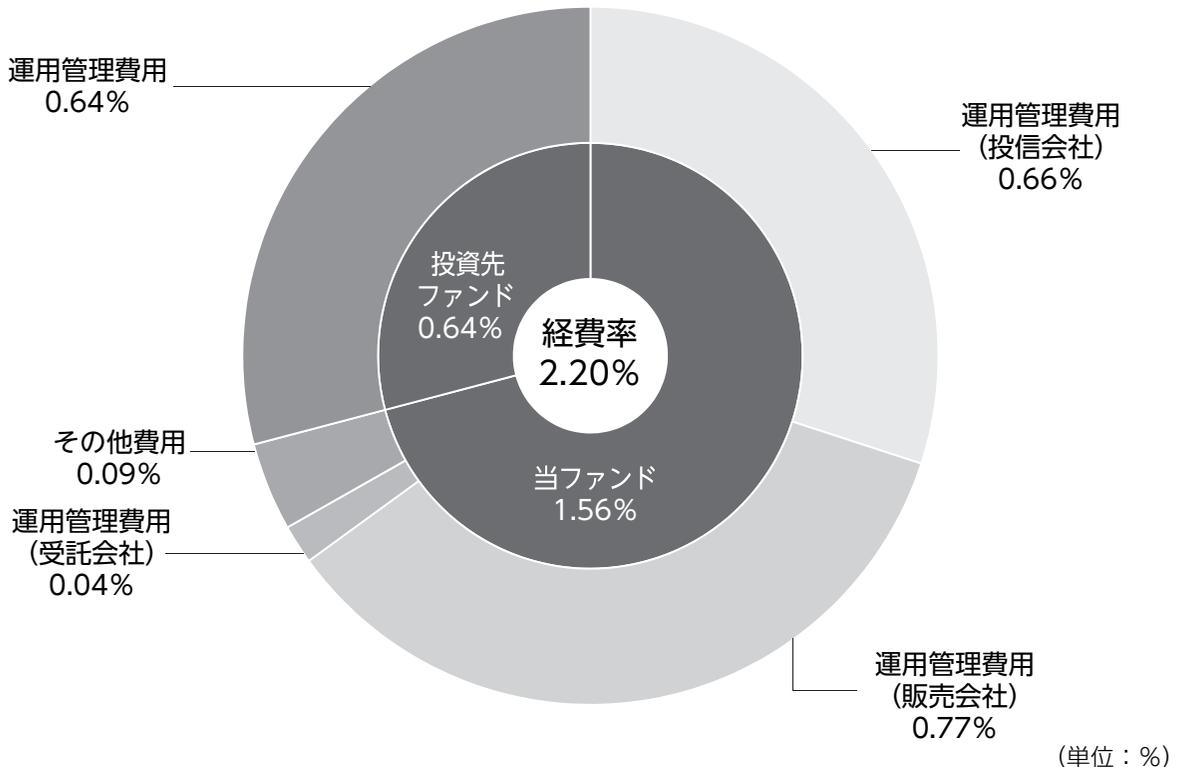
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注6) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.20%です。



経費率 (①+②)	2.20
①当ファンドの費用の比率	1.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率 (運用管理費用以外の費用を除く)	0.64

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

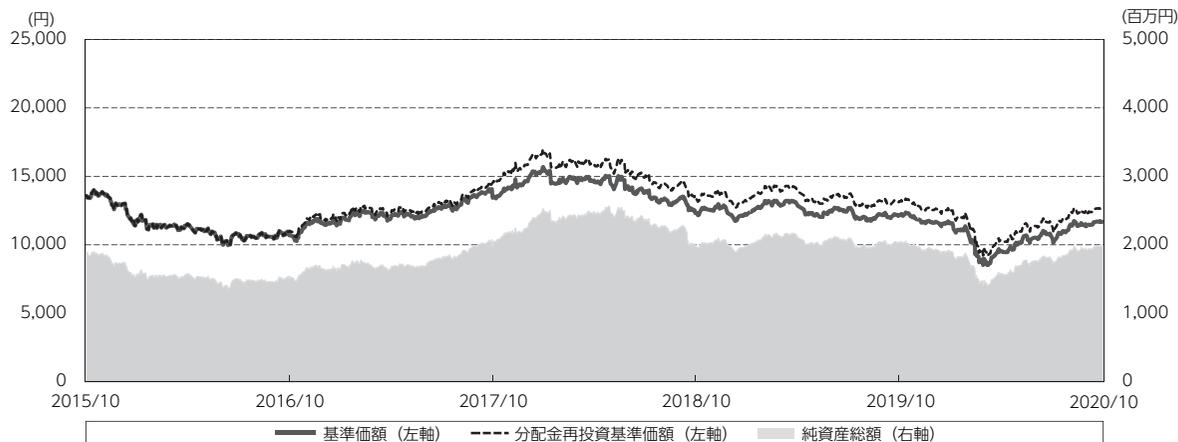
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年10月26日～2020年10月26日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年10月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年10月26日 期首	2016年10月25日 決算日	2017年10月25日 決算日	2018年10月25日 決算日	2019年10月25日 決算日	2020年10月26日 決算日
基準価額 (円)	13,611	10,700	13,430	12,365	12,186	11,671
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	300	700	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△19.2	32.1	△7.9	△1.4	△4.2
純資産総額 (百万円)	1,834	1,506	1,984	1,985	2,040	1,980

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2019年10月26日～2020年10月26日)

※以下の内容は、当ファンドの主要投資対象である「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスI受益証券」（以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。）を運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

2019年10月から2020年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境（株式市場・外国為替市場）

当期のアジア株式市場は、期の前半は新型コロナウイルスのパンデミック（感染の世界の広範囲にわたる拡大）を機に、2020年3月に向けて急落しました。しかしその後は、世界の主要中央銀行が利下げや流動性の供給を行ったこと、多くの国々が大胆な財政刺激策・景気支援対策を取ったことから、株価は上昇に転じ、期末にむけて底堅い動きとなりました。

当ファンドの主要投資対象市場の当期の経済・市場動向は次の通りです。

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が広がりを見せるとアジア・フロンティアの多くの国は先進国よりも素早く感染拡大防止の対策をとりました。まず、即座に厳格なロックダウン（都市封鎖）を行い、中央銀行は直ちに景気刺激策を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大を抑えることは、足元の経済活動よりも優先される課題でした。

例えばバングラデシュでは、政府は2020年の3月22日に都市封鎖に踏み切りました。そして銀行が個人事業や零細企業、中小企業を支援する政策を実施。この支援策を2回延長し11月までとしています。

ベトナムも、感染拡大を低く抑えた国の一つです。感染防止策を実施するとともに4-6月期に補助金制度を導入しました。同国の経済と株式市場は7月には感染拡大の第2波の影響を受けましたが、その後株式市場は、感染拡大のペースが弱まったこと、日本との間で渡航制限が緩和されビジネス旅行者の往来が再開するとの期待から、緩やかな上昇基調となりました。景気への悪影響を軽減するため、ベトナム政府は108億米ドルにのぼる信用供与の枠組みの設定、金利の引き下げ、複数の産業分野で税金や土地使用料の支払い期限の延長などを行いました。政府は更に、経済的に新型コロナウイルスの影響を受けた雇用主や被雇用者に金銭面での支援を行うなどの追加策を実施しました。ベトナムは、他国と比較して、新型コロナウイルスの感染拡大の抑制に成功しています。長期的にはベトナムは内需主導での経済拡大が続き、投資家にとって最も魅力のある投資先になると思われます。

新型コロナウイルスの感染拡大を機に、生産拠点を中国だけでなく他国へ分散させる動きが続いており、フロンティア市場はこの恩恵を受けやすいと考えます。事実、バングラデシュやベトナムでは、海外からの直接投資の資金が増加傾向にあります。カザフスタンも同様であり、2020年の同国への直接投資により、雇用の増加、商取引の拡大、そしてサプライチェーンの拡大などが、畜産業からサービス業まで幅広い分野で見られます。もっとも成長したのは、機械製造、飲料、医薬品などの軽工業の分野です。この先も海外からの直接投資により、中央アジア諸国の中でも、高い経済成長を遂げると考えます。国際通貨基金（IMF）の予想によると、カザフスタンの国内総生産（GDP）成長率は2020年には△2.7%と落ち込んだものの、2021年には+3.0%へと回復するとされています。

ハーベストAFエクイティファンド
1口当たり純資産価格の推移



(注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。

(注2) 報酬（固定報酬・成功報酬）控除後の数値です。

(注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の基準価額に反映されます。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年10月26日～2020年10月26日)

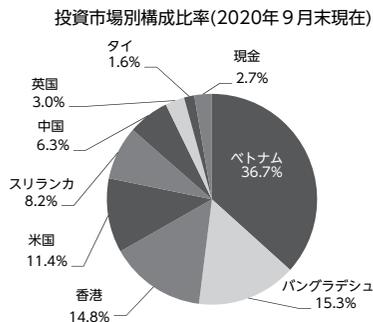
＜当ファンド＞

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第9期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託（円建て）「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組み入れています。当期の基準価額（分配金込み）は△4.2%の下落となりました。

＜ハーベストAFエクイティファンド＞

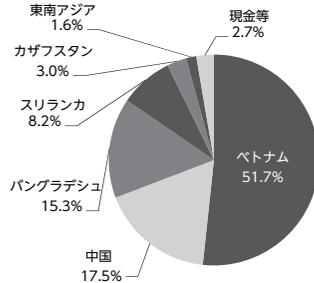
※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

当期のハーベストAFエクイティファンドの騰落率は、絶対収益ベースで前期末比、マイナスとなりました。アジア市場全体に対し騰落率がやや劣後しましたが、これは当ファンドの投資対象銘柄に情報技術関連銘柄が少なかったことがその要因と考えられます。

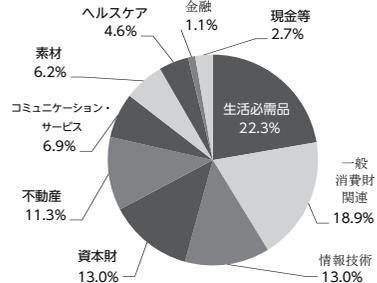


(注) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

投資対象国・地域別構成比率 (2020年9月末現在)



セクター別構成比率 (2020年9月末現在)



組入上位5銘柄 (2020年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
シー	ベトナム	情報技術	8.4%
ビンホームズ	ベトナム	不動産	8.2%
シェンジョウ・インターナショナル・グループ・ホールディングス	ベトナム*	一般消費財関連	6.6%
サイゴンビール・アルコール飲料総社	ベトナム	生活必需品	6.6%
ベトナムデイリー	ベトナム	生活必需品	6.4%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 比率は投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

*主な事業展開をする国となります。

<FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)>

主要投資対象である「短期金融資産マザーファンド」の受益証券を高位に組入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年10月26日～2020年10月26日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

分配金

(2019年10月26日～2020年10月26日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額（配当等収益額から経費等を控除）を算出し、市況動向や基準価額の水準などを考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期
	2019年10月26日～ 2020年10月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,671

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税込み）と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長をめざした運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※ハーベストAFエクイティファンドを運用するハーベスト グローバル インベストメント リミテッドからのコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集・加筆したものです。

現在潤沢な流動性を背景として、実体経済と株式相場との間に乖離が生じており、市場で懸念され始めています。とは言え「中央銀行にはさからってはいけない」というのが市場関係者の実感です。歴史的な低金利や景気刺激策により、株式市場のバリュエーションは全く新しい水準まで上昇して取引されています。特に市場の寵児となっているのは人々の「在宅生活」の恩恵を受けている銘柄などであり、これらは、例えていうならば「成層圏にまで到達する程高いバリュエーション」で取引されて、「重力に逆らう格好」で株価が上昇し続けています。こうした「無重力」と化した上昇基調は、主に成長を求める投資家によるものであり、今のところ、在宅関連銘柄が確実性の高い成長銘柄となっています。

このような状況の中で2021年に向けた問題は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、中央銀行が景気刺激策を維持するかということです。私たちは、中央銀行が金融緩和策を継続する間は、株式市場の下値リスクは限られると考えます。新型コロナウイルス感染による死亡率の低下は、検査の強化とロックダウンなどの規制によるもので、ウイルス自体の毒性が弱まったわけではありません。

しかし、もしワクチンが開発され実用化されれば、投資家は中央銀行が現状の緩和姿勢を後退させることを懸念し、株式市場は調整局面を迎えるかもしれません。

このため私たちは、慎重な姿勢で運用に臨みます。現時点では、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオは、ほぼ全額を株式に投資していますが、異常なバリュエーションで取引されている在宅関連以外の銘柄などを含め、バランスの取れた分散したポートフォリオを構築しています。

より長期的な観点では、ベトナムやバングラデシュから米国に向けた輸出の急速な増加が続いており、米中貿易協議の先行きに関係なく各国の製造業社が生産拠点を東南アジア及びフロンティア諸国に広げる動きが続くと想定しています。特に今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって中国から他国への生産拠点の移転が加速するかもしれません。

全体的には、アジア・フロンティア市場のバリュエーションは世界の先進国市場に比べて低く、引き続き世界の投資家に注目されるでしょう。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産など（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

お知らせ

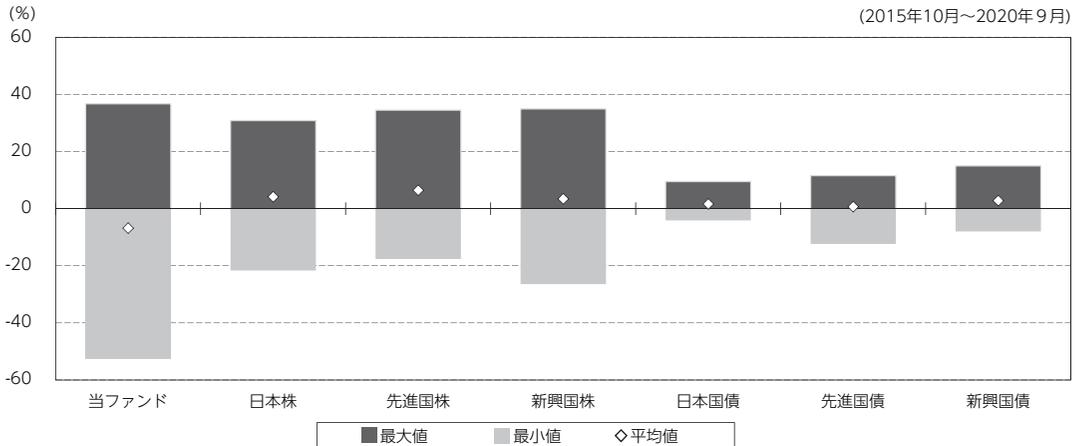
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2011年10月28日設定）
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、当ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。</p> <p>⑤投資信託証券、短期有価証券及び短期金融商品等（短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。）以外への直接投資は行いません。</p>
分配方針	<p>毎決算時（毎年10月25日。休業日の場合は翌営業日とします。）に原則として以下の方針により分配を行います。</p> <p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.8	30.9	34.5	35.0	9.5	11.6	15.0
最小値	△ 52.5	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	△ 6.8	4.2	6.4	3.4	1.6	0.7	2.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年10月26日現在)

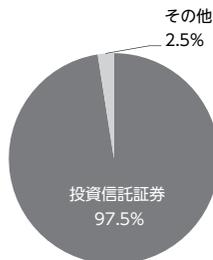
○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
	%
ハーベスト・アジア フロンティア エクィティファンド クラスJ	97.5
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

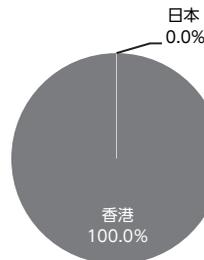
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

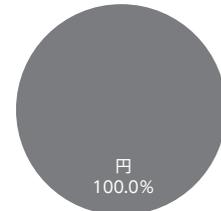
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入有価証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第9期末
	2020年10月26日
純資産総額	1,980,981,735円
受益権総口数	1,697,306,742口
1万口当たり基準価額	11,671円

(注) 期中における追加設定元本額は406,167,285円、同解約元本額は383,622,999円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】
(2018年12月末～2019年12月末)

- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は1,000円です。
 (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
 (注3) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。
 (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

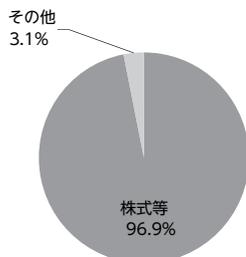
【組入上位10銘柄】

(2019年12月末現在)

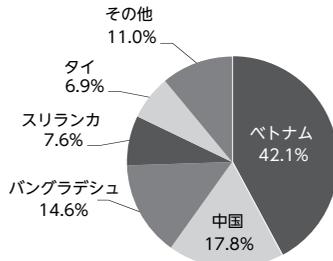
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	VIETJET AVIATION JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	9.28
2	VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	8.61
3	SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	一般消費財関連	香港ドル	中国	5.86
4	AIRPORTS CORP OF VIETNAM JSC	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	5.55
5	SAIGON BEER ALCOHOL BEVERAGE	生活必需品	ベトナム・ドン	ベトナム	5.32
6	BRITISH AMERICAN TOBACCO BAN	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	4.58
7	VIETNAM ENGINE & AGRICULTURA	一般消費財関連	ベトナム・ドン	ベトナム	4.13
8	NO VA LAND INVESTMENT GROUP	資本財	ベトナム・ドン	ベトナム	4.01
9	DHG PHARMACEUTICAL JSC	ヘルスケア	ベトナム・ドン	ベトナム	3.15
10	AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	資本財	タイ・バーツ	タイ	3.03
組入銘柄数				33銘柄	

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

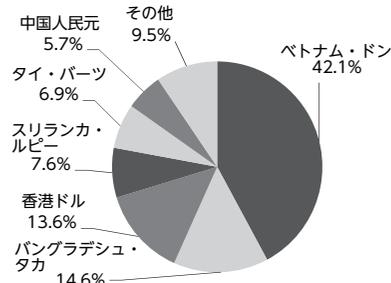
【資産別配分】



【国別配分】



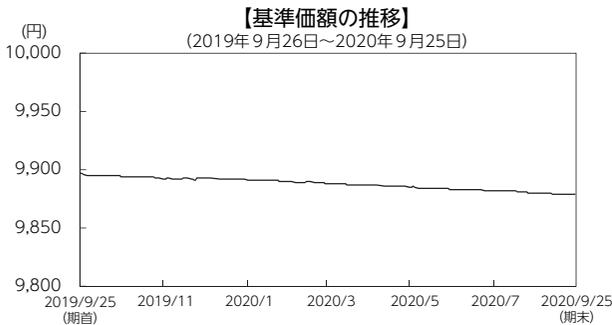
【通貨別配分】



- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2019年12月末現在のものです。
 (注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は組入株式の評価額合計に対する割合です。
 (注3) 各配分比率は、表示単位未満を四捨五入しているため合計が100にならないことがあります。

FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。



【1万口当たりの費用明細】
(2019年9月26日～2020年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	14円 (11) (1) (2)	0.143% (0.110) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.005 (0.005) (0.000)
合 計	15	0.148

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

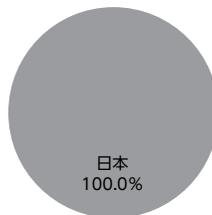
【組入上位10銘柄】

当期末における該当事項はありません。

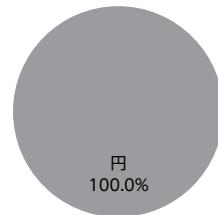
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、「FOFs用短期金融資産ファンド (適格機関投資家専用)」の組入ファンドである「短期金融資産 マザーファンド」のデータです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

〈各指数の概要〉

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含む Morningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。